

WE しもやま LOVE

下山の誇りを受け継ごう



伝統・文化

下山の誇る「黒坂の祭り囃子（巴太鼓）」の記録映像が完成

しもやまスマイルプランの一環として、令和3年度に作成した「下山村の三河万歳」に続き、下山地区の無形民俗文化財である、「黒坂の祭り囃子（巴太鼓）」の記録映像を作成しました。

記録映像は、保存会、三巴自治区および市の共働で作成し、秋の大祭での披露に向けて練習する様子から当日の披露までを余すことなく記録しています。

また、巴太鼓の継承のため新たな演奏者となる方が分かりやすいように、演奏と楽譜をリンクさせた動画（以下、楽譜解説写真参照）があるほか、笛の持ち方を書き起こした冊子を作成するなど、保存会の監修ならではの作品に仕上がっています。

記録映像や紹介展示作品は、香恋の館2階の郷土資料室にてご覧いただけます。



▲保存会 杉浦会長



▲黒坂の祭り囃子（巴太鼓）ダイジェスト版動画
豊田市公式Youtube



▲下山村の三河万歳 動画

【杉浦会長コメント】巴太鼓は、約200年前の江戸時代に安城方面から入ってきたそうです。戦後、中断と復活を繰り返し、平成に入ったところに再び復活し、今度は私たちが父親たちから指導を受け今に至っています。

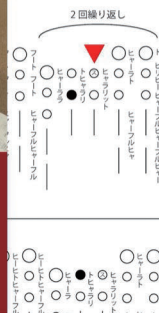
かつては男性が中心となり、重い太鼓を担いで町内等を歩いていましたが、現在は女性や子どもたちも一緒に演奏できるように神社での演奏を主にしています。後継者不足やコロナ禍で中断せざるを得ない状況もありましたが、再開して、皆で集まり、ワイワイガヤガヤと話して、練習して、演奏を作り上げていくことは良いことだと感じました。今後も途切れることの無い様に大切にしていこうと思います。



▲香恋の館での展示の様子

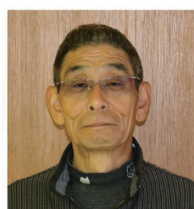


▲記録映像抜粋 楽譜解説





令和6年度 下山地区の自治区長を紹介します

自治区名	自治区長	コメント	組長一覧
	 かとう ゆきみね 加藤 幸峰 (会長)	今年度、下山地区区長会長を務めさせていただきます。しもやまスマイルプランがめざす「笑顔で暮らせるまちしもやま」に向かって尽力して参りたいと存じます。みなさまのご支援、ご協力をお願いいたします。	小松野組 熊谷 義弘 和合組 川合 和久 神殿組 加藤 仁
	 かとう しげひろ 加藤 繁廣 (副会長)	引き続き、自治区長を務めさせていただきます。本年本稼動しましたトヨタテクニカルセンター下山との交流について地区が一緒になって出来る行事等を考え進めて行く話し合いを重ねていきますのでご協力をお願いします。	花沢1組 磯谷 吉則 花沢2組 藤瀬 晃 花沢3組 酒井 順之 花沢4組 河邊 亨 花沢5組 守屋 和喜 下山田代組 牧野 清和
	 おおた すみお 太田 純夫 (庶務)	今年度三巴自治区長を務めさせていただきます。皆様と共に、安心、安全な生活が送れる様に頑張ります。ご協力、ご支援よろしくお願い致します。	蘭組 奥田 吉美 黒坂組 荻野 幸夫
	 あんどう ぶんいち 安藤 文一 (会計)	今年度羽布自治区長を務める事になりました。 清水の舞台から飛び降りる思いですが、皆さまの御指導御協力の下、務めてまいります。自治区各行事にご理解・ご協力をお願い致します。	野原組 和出 重広 大桑組 川合 明良 羽布組 鈴木 孝典
	 たかす ゆきお 高須 幸夫 (研修委員)	引き続き区長を務めさせていただきます。 自治区の将来のあり方をテーマに取り組んで参りたいと思います。 区民皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。	平瀬組 瀬戸山 美彦 田平沢組 藤澤 隆久 栃立組 藤澤 泰 立岩組 大竹 正則 東大林組 鈴木 宏金
	 すがた さとる 菅田 悟 (会計監査)	昨年度に引き続き区長を務めさせていただきます。地域課題に取り組み活力のある阿蔵自治区にしていきたいと思っています。 自治区の皆様のご協力ご支援をよろしくお願い申し上げます。	阿蔵組 小木曾 誠 梨野組 大竹 憲幸 宇連野組 横澤 唯史
	 すずき まさや 鈴木 雅弥 (会計監査)	今年度、大沼自治区長を務めさせていただきます。「しもやまスマイルプラン」に基づく諸活動を通して、温かいつながりが広がる地域づくりをめざします。皆様、いっしょに進めていきましょう。	大沼1組 川村 康二 大沼2組 川合 秀樹 大沼3組 木村 久 大沼4組 大河原 進 大沼5組 磯谷 尚樹



下山商工会の創業支援で起業しました！ みはたま珈琲

今回、起業をした「みはたま（株）」の梅本さん（東大林町在住）にお話を伺いました。



▲団体ウェブページ

Q.みはたま（株）はどのような団体ですか？

A.私たちは、AIで画像を判断するシステムを使って、事業を創出するIT企業です。

今はコーヒー豆を商材にしています。通常コーヒー豆は欠点豆（虫食いやカビなど）を含んだまま焙煎されますが、AI画像選別で、焙煎前の生豆を徹底的に選別することで、雑味のないクリアなコーヒーを作り出します。実は、私はわくわく事業にて、AI技術を使った獣害対策事業を過去に実施しており、会社の創業メンバーも同様の事業を稲武地区で実施して、つながった同志です。

Q.下山商工会の創業支援をなぜ利用してみようと思いましたか？

A.「特定創業支援事業」制度を活用すると、創業時の登記費用15万円が半分かになると知り、取り急ぎ、下山商工会へ伺いました。正直、登記まではまだまだ準備不足で、もっと時間がかかると思っていたが、下山商工会の経営指導員の長谷川さんが手取り足取り、開業に必要な「経営」や「財務」の知識を教えて下さり、相談して1年以内に開業までたどり着くことができました。

Q.読書の皆さまへ一言お願いします！

A.下山地区内外の各種イベントに徐々に出展予定です。

ぜひコーヒーを味わいに来てください！



▲みはたま（株）の皆さん



▲梅本さん(右)と下山商工会
長谷川さん(左)



令和6年度わくわく事業（11団体）が活動を開始します！

わくわく事業補助金は、地域資源を活用して「地域課題の解決」や「地域の活性化」に取り組む団体の活動を支援する補助金制度です。令和6年度は、11団体に交付を決定し、そのうち地域会議から提言を受けた事業で、広く地域から募集する「テーマ設定型わくわく事業」にも3団体が採択されました。下山地区の住みよい地域づくりに取り組む各団体を地域で応援していきましょう。

新規	テーマ 設定型	団 体 名	補助申請事業名	交付決定額 (円)
		阿蔵組	須賀神社所蔵 農村舞台模写修理及び欠失面の復元画作成	466,000
		大沼支障木整備部会	大沼町地内の支障木整備	127,000
		大沼まちづくり部（塚本・鳥屋地区）	ロウバイ花木で大沼の四季を彩る景観づくり	104,000
	○	想家PROJECT	地域活性のために空き家再生事業で関係人口を増やそう！	906,000
		下山スポーツフェスタ実行委員会	下山スポーツフェスタ	361,000
		しもやまみんなの学び舎*たんぼぼ	みんなでつくる地域と学校	684,000
	○	NPO法人下山わくわくファーム	下山を好きになってもらう下山体験教室の開催	612,000
新	○	花山自治区振興部健康促進隊	第2回花山「あせび」てくてくウォーキング	297,000
		羽布林道整備隊	林道障害木伐採、草刈り、路面、側溝管理	219,000
		三河湖の自然と環境を考える会	三河湖の自然を理解して楽しむ事業	891,000
		八沢の丘公園整備委員会	旧大沼小学校跡地の公園化整備	993,000

下山の自然あれこれ「⑩春のサクラと新緑と」

春は花と新緑の季節。今年もたくさんの花と若葉が下山地区を彩りました。バラ科サクラ属を中心に、春に咲いた主な花を順番で並べてみると、次のようになります。

2月に咲いたのはウメの花、3月にはハナモモとシキザクラとエドヒガン（ウスズミザクラ）。今年のサクラの開花は、例年より7～10日ほど遅かった印象です。3月中下旬になっても、気温の上がらない日が続いたことが原因でしょう。

4月に入ってようやくソメイヨシノとヤマザクラが開花。その後、カスミザクラとウワミズザクラが咲きました。これで、サクラの仲間は6種類になりました。

ところで、シキザクラ～ソメイヨシノまでは先に花が咲いた後に開葉するので、最初は花だけでとても目立ちます。しかし、ヤマザクラ以降のサクラは、花と開葉が同時、または開葉の後に花が咲く、いわゆる「葉桜」になるので、前者ほど花が目立ちません。現代の花見には前者が好まれますが、個人的には、ヤマザクラなどの葉桜も趣があって素敵だと思います。

「さまざまの 事思ひ出す さくらかな」（芭蕉）



▲大沼地区の森に点在するヤマザクラの開花の風景



▲エドヒガン系の枝垂れサクラの花

連載コラム「せっつが行く vol.12」 “すべての人に移動の自由を”



私の出身地は岡山県美星町という田舎町で、高校を卒業するまで住んでいました。公共交通機関は1日3便のバスだけ。乗り継ぎもできなく高校までは片道30キロを自転車で通っていました。部活後、疲れ果てた日は麓の集落まで父親に迎えに来てもらう事もあり、両親に面倒を掛けた事しか思い浮かびません。

山村地域の共通課題として、病院、買物、通勤・通学など移動に関する困りごとがあります。友人が親の介護に直面し、献身的に取り組む姿や移動の困りごとと向き合う姿を目の当たりにし、「自分たちも困っている人たちの役に立ちたい」と真剣に考えた下山在住者を中心とした自動車メーカーの3人グループがいます。3人が課題として捉えたことが「高齢の親が運転を続けていることへの不安」でした。高齢の親を持つ家族へのヒアリングで浮き彫りになったことは、自分たちの身近でも、危ない運転・事故が多発していることです。この社会課題解決に向け、下山支所をはじめ行政、住民、車両運行業者、警察署、沿線自治区、医療機関へ足を運び、「すべての人に移動の自由を」をゴールに1年間調査・研究をしてきました。3人のチャレンジは一旦ひと区切りつきましたが、これまでの過程で見てきた、日本の公共交通の現実、関係者がそれぞれの立場で懸命に取り組んでいる想いは、移動支援サービス事業者やそれぞれの地域交通担当部署へと引継がれました。この大きな社会課題に、「『困ってる人を助けたい』という想いで集まったメンバーで、一緒に一歩踏み出したこの経験はかけがえのない財産になった」と語ってくれました。「ここで立ち止まっている暇はない」と力強く語ってくださる方が下山にいることも、下山にとって大きな財産だと感じました。

運転する親	危ない運転・事故
父（80代）	居眠り運転
父（80代）	民家に激突
母（60代）	パニックになりバックシ衝突
父（90代）	お店の駐車場で逆走、駐車時物損
父（80代）	帰省のために車に傷が増えている
父（70代）	急発進、急ブレーキ、車間距離が短い

▲ヒアリング結果一例



▲左から 宿利さん 小林さん 中川さん



令和6年度 里楽暮住しもやま会が活動開始！

4月9日（火）、令和6年度第1回里楽暮住(りらくくす)しもやま会の全体会を開催しました。

里楽暮住しもやま会は、各自治区から選出されたメンバーで組織され、空き家の発掘や地域の愛着形成など、地域全体の定住促進につながる活動を行っています。

今年度は、空き家発掘に向けた働きかけに加え、下山中学校と連携した取り組みを進めていきます。

<委員紹介>

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| ■ 大竹 信男（阿蔵） | ■ 伊藤 裕一（田平沢） | ■ 高木 篤（羽布） |
| ■ 横山 勝弘（阿蔵） | ■ 筒井 英樹（田平沢） | ■ 加藤 博幸（和合） |
| ■ 新村 智治（大沼） | ■ 河合 智幸（花山） | ■ 三浦 修（和合） |
| ■ 星野 要（大沼） | ■ 鈴木 浩幸（花山） | ■ 根本 清子（和合） |
| ■ 稲本 加奈子（三巴） | ■ 川合 真裕（羽布） | |
| ■ 谷上 健一（三巴） | ■ 木下 貴晴（羽布） | |



第10期（令和6・7年度）下山地域会議が始動します！

4月19日（金）、令和6年度第1回下山地域会議を開催しました。各自治区から2名の推薦委員にて構成され、総勢14名のうち、新任委員9名を迎えた新体制となります。地域会議は、地域住民の意見（課題）を集めて、まとめ、市長へ伝えるための組織です。下山で暮らし続けるため、地域一丸「オール下山」にてのまちづくりが必要です。あなたの自治区の委員を頼りにしてください。



▲委嘱状の交付



<委員紹介>◎会長 ○副会長

- | | |
|---------------|---------------|
| ■ 東澤 正登（阿蔵） | ■ 中川 康恵（阿蔵） |
| ■ 西尾 方宏（大沼） | ■ 林 笑（大沼） |
| ■ 清水 勝彦（三巴） | ■ 筒井 薫（三巴） |
| ■ 徳永 美恵子（田平沢） | ■ 川合 成幸（田平沢）○ |
| ■ 恩田 友明（花山） | ■ 平井 達也（花山） |
| ■ 川合 寿佳（羽布） | ■ 杉浦 三和子（羽布） |
| ■ 谷本 佳子（和合） | ■ 川合 輔宏（和合）◎ |

下山地区データ



人口
3,974 人
(-101)



男性
1,978 人
(-45)



女性
1,996 人
(-56)



(4月1日現在)
※（ ）は前年同月比

世帯数
1,639 世帯
(-3)

発行情報

編集・発行

お問い合わせ

豊田市役所下山支所（〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1）
毎月15日発行
TEL 0565-90-2111 FAX 0565-90-3344
MAIL shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp

地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を掲載しませんか！





〔 社協下山支所だより 〕

まどいの丘



住所：豊田市神殿町中切7番地2

TEL:0565-90-4005 / FAX:0565-90-2419 / MAIL:shimoyama@toyota-shakyo.jp

令和6年度 社協下山支所の体制



支所長 鈴木 崇仁

支所長4年目を迎えました。
今年度もよろしくお願
いします！

職員一丸となって下山地区
の福祉力の向上に努めてい
きます。いつでも結構です
ので気軽に遊びに来てくだ
さい。お待ちしております。

スタッフ総勢30名で
皆様の元気を応援します！



まどいの丘デイサービスセンター
まどいの丘おいでんクラブ

新村 美加子 溝口 愛子 古田 美佐子

この写真、まどいの丘で撮影したんですよ！
どこかわかりますか？ぜひ、探しに来てくださいね！



高齢者等の総合相談窓口 まどいの丘包括支援センター

(左上から) 松井 清香 橋本 敬子

(左下から) 小幡 千晴 【担当長】石黒 富美子



人生100年
時代、介護の
伴走者になり
ます！

まどいの丘ケアプランセンター

【担当長】神谷 洋美 山田 裕介

「安心して自分らしく
生きられる支え合いの
まちづくり」を共に
進めましょう！



地域福祉担当 経理・庶務担当
山田 裕介 平野 博子

お世話になりました ～退職者・異動者よりごあいさつ～



デイサービスで長い間
お世話になり、本当にあ
りがとうございました。
春からは、地域ふれあい
サロンの支援員をさせ
ていただきます。よろし
くお願いいたします。

太田 祐子(退職) ※4月よりふれあいサロン支援員



異業種からの転職で不安も
ありましたが、地域の皆様
に温かく接していただき、
楽しく仕事をすることがで
きました。ありがとうございました。
また会える日を
楽しみにしております。

磯村 完(本所くらし応援課へ)



下山交流館だより

連絡先

TEL:0565-91-1650

FAX:0565-91-1030



開館:午前9時～午後9時 休館日:月曜日(祝日、振替休日を除く) H P:<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

講座案内

令和6年度 雑誌一覧

スマホ体験教室

日時: **7月3日(水)**

①10時～12時

LINE+基本編

②14時～15時30分

はじめてのスマホ決済

場所: 下山交流館多目的ルーム

対象: どなたでも

定員: 各20人

申込み: 6月1日(土)

9時30分～

窓口または電話



スマイル☆キッズ② ～パパと遊ぼう～

日時: **7月13日(土)**

10時～12時

場所: シルバー人材センター

憩の家

対象: 未就学児親子

定員: 15組

参加費: 200円

申込み: 6月15日(土)

9時30分～

窓口または電話



- クロワッサン(女性週刊誌)
- 日経 WOMAN(女性総合誌)
- NHK すてきにハンドメイド(手芸)
- NHK 趣味の園芸やさいの時間(園芸)
- LDK(生活) ●ゆほびか(健康)
- Kodomoe(子育て)
- 旅の手帖(旅行)



自主グループ活動報告

下山囲碁・将棋クラブ

4月6日(土)に囲碁大会 4月13日(土)に将棋大会を行いました。
優勝【囲碁大会】川合 章悟さん【将棋大会】城殿 昭則さん
おめでとうございます!!



今後の大会予定

【囲碁大会】8月3日(土)、10月19日(土)

【将棋大会】8月10日(土)、11月2日(土)



参加者
募集中

令和6年度

しもやまスマイルフェスタ

10月27日(日)開催!

※詳細は決まり次第
お知らせします。
お楽しみに♪

6月ロビー展示

ミニカーコレクション

清水 遥貴さん

まくらめ 他

平石 東さん

4/18

(木)

プラス
さろん



参加者はカラダゆるめる体操やごぼう先生のドキドキ体操をみんなでを行い、楽しいひと時を過ごしました。

下山交流館で開催されました♪



次回は

6月20日(木)

9時30分～11時30分

どなたでも♪
お気軽にお立ち
寄りください(^^)/



昔の肥

絵と文がむらじょう

昔の肥と言えぱとにかく草！

山には木やカヤだけでなく肥にする草を育てる草刈り場があったよ。

五月末のびて来た草を刈り生のまま田の肥にする。夏のあ金の頃に刈る草は干して来年の肥用に置いておく。11月三番刈り、草は積んで堆肥にするよ。



次のために金を残す

山すそまでは背負子で運ぶ

そこから鋤を引いて田を耕す牛の糞尿は厩肥と言って敷きぬいちゃ食べ残しの草も混ぜた良い肥だ。月に3回くらい肥出しをして肥置き場

に積んで発酵させてから肥に使う。

もちろん人の糞尿も肥にしたよ。人の肥は便所のかめから天びん棒にしゃんぼけ(肥桶)ぶら下げて畑の脇にある大きなしゃんぼけ(肥だめ)に移して一年以上寝かすので肥だめはいつかあった。使う時は水で薄めて使った。薄める水に体を洗った風呂の残り湯を体のよみも肥になると使う人もあったくらい肥に一生懸命だったよ。

田んぼの準備が始まると山へしばを刈りに行くよ。しばは山灰や薪にする木から芽ぶいた若い枝のこつこつを押し切りで切って田へばらまき肥と一緒に牛の引く鋤ですき込む。しばは、ゆくり後から刈ってくる肥になるので、豊作の元だよ。たくさんすき込むので土の表に出たしばは、水に浮かないように足でふんじむ(踏み込む)作業がなかなかきつかったよ。いくら若い枝と言っても木の枝だもの足から血がにじむことはあたり前だったげな。



子どもも手伝ったよ。

はねないように入れた

昔の便所は家の外だった

しゃんぼけ(肥桶)